

九州大学大学院薬学研究院クライオ電子顕微鏡等使用規程

令和5年度九大規程43号

制定：令和5年11月22日

最終改正：令和6年7月22日

(令和6年度九大規程第18号)

九州大学大学院薬学研究院クライオ電子顕微鏡等使用規程（令和3年九大規程第110号）の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この規程は、九州大学大学院薬学研究院（以下「薬学研究院」という。）に設置するクライオ電子顕微鏡等の使用に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 成果専有利用 研究課題の秘匿性により、第4条に定める審査を受けずにクライオ電子顕微鏡等を使用し、その成果を一般に公開する義務を伴わない使用をいう。
- (2) 成果非専有利用 第4条に定める審査を通して、クライオ電子顕微鏡等の使用の諾否が決定され、その成果を一般に公表する義務を伴う使用をいう。
- (3) 教育研究機関 国立研究開発法人、中期目標管理法人、行政執行法人、大学共同利用機関法人、国立大学法人、学校法人、公立大学法人及び私立学校をいう。
- (4) トライアル 使用者が学内者又は教育研究機関所属の者であるかを問わず、クライオ電子顕微鏡等を初めて使用する場合をいう。

(使用の手続)

第3条 クライオ電子顕微鏡等の使用を希望する者（以下「使用希望者」という。）は、成果専有利用又は成果非専有利用のどちらかを申し出るとともに、所定の申請書により薬学研究院長が指名するクライオ電子顕微鏡等管理者（以下「管理者」という。）に申請し、管理者の求めに応じて、成果専有利用又は成果非専有利用に関する追加の書類等を提出し、許可を得なければならない。

2 使用希望者は、グリーンファルマ構造解析センター（以下「センター」という。）による当該申請の内容に係る精査の結果に基づき、センター長から成果専有利用での使用を認められた場合は、センターへ成果専有利用同意書を提出しなければならない。

3 使用希望者は、この規程に定めるもの以外に特別な支援が必要である場合は、薬学研究院と契約等を追加して締結することができる。

(成果非専有利用に係る審査)

第4条 センターは前条第1項に基づき、使用希望者が成果非専有利用を申し出て申請した場合、別に定める運営委員会（以下「委員会」という。）で研究課題の科学的妥当性に関する審査を行い、使用希望者へ結果を通知する。

(使用者の義務)

第5条 クライオ電子顕微鏡等の使用者（以下「使用者」という。）は、管理者の指示に従い、善良なる管理者の注意をもってクライオ電子顕微鏡等を利用しなければならない。

2 成果非専有利用で使用した使用者は、使用後にその成果並びに公開に係る具体的な内容及び手順をセンターに報告し、委員会の議を経て、公開しなければならない。

（損害賠償）

第6条 使用者が、その責めに帰すべき事由により、クライオ電子顕微鏡等及び備品等を滅失、破損又は汚損したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（使用料）

第7条 使用者は、別表に掲げる使用料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、成果非専有利用で学内者及び教育研究機関所属の者がクライオ電子顕微鏡等を使用する場合、1回あたりの使用が8時間以上24時間以内の使用については、別表に掲げる使用料を8時間の使用とみなすものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、成果非専有利用で学内者及び教育研究機関所属の者がクライオ電子顕微鏡等を使用する場合、1回あたりの使用が4時間以上24時間以内の使用となるトライアルについては、別表に掲げる使用料を4時間の使用とみなすものとする。

（徴収等）

第8条 前条に規定する使用料は、経費の振替又は九州大学が指定する口座への振込により、所定の期日までに支払わなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、薬学研究院長が特に必要と認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。

3 既納の使用料は、原則として返還しない。

（雑則）

第9条 この規程に定めるもののほか、クライオ電子顕微鏡等の使用に関し必要な事項は、薬学研究院長が別に定める。

附 則

この規程は、令和5年11月22日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年8月1日から施行する。

別表（第7条関係）

1. 1時間当たりの使用料を設定する設備

設 備 名	使用料（円／時間）	
	本学が管理する経費 から支出される場合	左記以外の経費から 支出される場合
超高加速電圧クライオ電子顕微鏡 JEM-3300 (※1) (※3) (※4)	6, 400	7, 100
高加速電圧クライオ電子顕微鏡装置 JEM-Z200FSC (※2) (※3) (※4)	5, 100	5, 600

備考

(※1) 成果非専有利用で学外者が使用する場合、準備料として1回当たり9,300円を加算する。

(※2) 成果非専有利用で学外者が使用する場合、準備料として1回当たり7,900円を加算する。

(※3) 成果専有利用の場合、手数料として1回当たり96,000円（準備料含む。）を加算する。

(※4) 本機器使用の際、各種消耗品を使用する場合は、以下に定める額を加算する。

- ・グリッド (Cu) : 1個当たり2,100円
- ・グリッド (Au) : 1個当たり3,100円
- ・クランプ (C-ring) : 1個当たり3,000円
- ・グリッドケース : 1個当たり1,100円
- ・C-Clip & ring : 1組当たり3,200円
- ・カーボン支持膜付グリッド (Cu) : 1個当たり3,000円

2. 1件当たりの使用料を設定する設備

設 備 名	使用料（円／件）	
	本学が管理する経費 から支出される場合	左記以外の経費から 支出される場合
クライオ電子顕微鏡試料作成用凍結装置 (※1)	2,600	2,600

備考

(※1) 本機器使用の際、各種消耗品を使用する場合は、以下に定める額を加算する。

- ・グリッド (Cu) : 1個当たり2,100円
- ・グリッド (Au) : 1個当たり3,100円
- ・クランプ (C-ring) : 1個当たり3,000円
- ・グリッドケース : 1個当たり1,100円
- ・C-Clip & ring : 1組当たり3,200円

- ・カーボン支持膜付グリッド (Cu) : 1個当たり 3, 000 円

3. 次の設備を使用する試料の分析等を依頼する場合

設 備 名	使用料 (円／時間)	
	本学が管理する経費 から支出される場合	左記以外の経費から 支出される場合
超高加速電圧クライオ電子顕微鏡 JEM-3300 (※3) (※2)	6, 400	9, 300
高加速電圧クライオ電子顕微鏡 JEM-Z200FSC (※3) (※2)	5, 100	7, 900
クライオ電子顕微鏡試料作成用凍結装置 (※1) (※2)	3, 100	8, 200

備考

(※1) 1件当たりの使用料

(※2) 本機器使用の際、各種消耗品を使用する場合は、以下に定める額を加算する。

- ・グリッド (Cu) : 1個当たり 2, 100 円
- ・グリッド (Au) : 1個当たり 3, 100 円
- ・クランプ (C-ring) : 1個当たり 3, 000 円
- ・グリッドケース : 1個当たり 1, 100 円
- ・C-Clip & ring : 1組当たり 3, 200 円
- ・カーボン支持膜付グリッド (Cu) : 1個当たり 3, 000 円

(※3) 成果専有利用の場合、手数料として1回当たり 96, 000 円を加算する。